



地区ガバナー就任の

ご挨拶

ガバナー **中野 肇夫**

いよいよ夏も本番を迎え、ロータリーの新年度が始まりました。クラブ会長並びに幹事の皆様におかれましては、新しい奉仕の計画の実行を前にして希望に燃えておられることと思ひ大慶に存じます。不肖私は地区ガバナーに就任致し、責任の重さと新しい仕事を前にして大変緊張しております。どれだけのことが出来るかわかりませんが誠心誠意努力致すつもりでおりますので、皆様のご協力とご鞭撻をよろしくお願い致します。

さて、ロータリーは来年の2月で誕生以来90周年を迎えます。その間ロータリーは世界に広がり、149の国及び39の地域にわたっています。このように異なる文化をもった地区の人々が参加して、会員数が増加しているということは、「有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹、育成することにある」というロータリーの綱領が文化が越えて受け入れられているためであると考えられます。このロータリーの綱領を受け入れてロータリー・クラブに入会した我々ロータリアンは奉仕の理想に向かって努力する義務があると考えます。

ところで、奉仕の理想と言葉で言うのは易しいことですが、いざ実行に移そうとするといろいろと問題も出て参ります。そのためロータリーは発足以来変化を続けてきました。国際ロータリーは変化を続けておりますが、各ロータリー・クラブにおかれても変化をして来られたことでしょう。ロータリー・クラブの多くの役員の任期は1年ですので、クラブの伝統を踏まえつつ新しい試みに挑戦し易い仕組みになっています。

各クラブは自治制になっており、クラブ設立の条件として受け入れた国際ロータリー定款並に同細則を逸脱しない限り当該クラブ定款にしたがって運営出来る訳ですから、『友達になろう』というビル・ハントレー会長の掲げたRIのテーマの下で新しい奉仕の機会を見いだしてご活躍下さい。また、今年度の役員や委員長だけでなく、出来るだけ多くの会員に奉仕活動に参加していただけるようにご努力下さるようお願い致します。